

**小輪系アスターの発芽特性**

小輪系アスターの発芽適温は品種によって異なるが 15 ~ 25 にあり、従来型アスターに比べて狭い。発芽適温でも小輪系アスターの発芽率は、従来型アスターに比べて低い。

農業研究センター 農産園芸研究所 花き部(担当者：渡邊 功)

**研究のねらい**

小輪系アスターは、花径が小さく多花性のため添え花やアレンジに最適であり、花色が豊富で日持ちも良いことから今後需要が伸びる品目として注目されている。しかしながら、従来型アスターに比べて、発芽が不安定で育苗に失敗する事例が多い。そこで、発芽適温や暗条件下の発芽率を調査した。

**研究の成果**

1. 従来型アスターは 15 ~ 30 まで比較的高い発芽率を示すが、小輪系アスターの発芽適温は 15 ~ 25 にあって品種により異なり、発芽適温域も比較的狭い(表 1)。
2. 発芽適温でも小輪系アスターの発芽率は、従来型アスターに比べてやや低い(表 1)。
3. 暗条件下でもアスターは、明条件と同様の発芽率を示す(表 2)。

**普及上の留意点**

1. 高温期の播種では発芽率が低下するので 15 ~ 20 程度の保冷库で発芽させると良い。
2. 灌水量が多いと発芽率が低下しやすいので、表面が乾かない程度に灌水する。

表1 小輪系アスター及び従来型アスター品種の温度による発芽率の差異

品種名	温度別発芽率(%)				
	15	20	25	30	35
小輪系					
ハナローズ	58	81	50	17	8
プチルビー	78	78	61	22	3
ステラスカート	81	70	56	33	3
ステラホワイト	89	67	78	33	17
ステラブルー	75	75	92	75	3
従来型					
麗峰	94	97	92	78	17
緋の舞	100	100	97	97	11

注) 播種14日後の値。

表2 アスターの明暗条件における発芽率(%)

	20 暗条件	20 明条件
小輪系アスター ハナローズ	61	61
従来型アスター 緋の舞	100	100

注) 播種10日後の値。